

第13回 甘えと間主観性研究会 全国学術集会

テーマ 心の響きあう親子支援

令和4年10月16日(日)・10月15日(土) は事例検討を行います。
詳細は裏面へ

場所 秋田県労働会館 フォーラム・アキタ
秋田県秋田市中通6丁目7-36

参加費 16日 1000円 当日会場にてお支払いください。 定員85名

対象者 医師、心理士、保育士、保健師、看護師、助産師、民生児童委員等、
子育て支援や児童福祉に関わる方々

※コロナ感染予防にご協力ください。

10月16日(日)

8:30～受付

9:00	開会	
9:15 ～10:45	講演	講演「虐待予防を目指しての親支援」 澤田敬先生(認定NPO法人カンガルーの会 小児科医)  <略歴> 1972年より高知県立西南病院小児科医長・後部長を勤め、1999年に西南病院から高知県中央児童相談所に転勤(医務主任)、2011年まで勤める。2009年に認定NPO法人カンガルーの会(虐待予防を目指し、親子支援のできる人材養成機関)を設立、理事長を勤めている。2018年高知県(特に西部)小児医療の向上、子どものあまえの研究、子ども虐待予防の研究で厚生労働大臣賞を授与された。
10:50 ～12:30		ロバートソンフィルム上映会(解説・ディスカッション) ファシリテーター:松原徹先生(城東こどもクリニック小児科医) ロバートソンフィルムについては裏面に記載しています。
12:30 ～13:30	昼休憩	各自でご準備ください。 (会場内で召し上がることも可能です。)
13:30 ～14:40	講演	講演「響き合う心と心～育ちを考える～」 牧真吉先生(日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科教授)  <略歴> 1979年より精神科医として大学病院、民間精神科病院、総合病院精神科と精神医療の現場に15年勤め、1995年より児童福祉センター相談課名古屋児童福祉センター所長を経て2015年より現職。
14:40 ～16:00		シンポジウム テーマ「地域で親子支援はどこまで可能か」 コーディネーター:小林順子先生 (国際医療福祉大学クリニック 言語聴覚センター 公認心理師)
16:10	閉会	

ロバートソン・フィルムについて

ロバートソンフィルムとは、愛着理論を確立したボウルビィの弟子であるロバートソン夫妻によって1950年代にイギリスで撮影された母子分離をテーマにした白黒フィルムです。そこでは17ヶ月～3歳までの子供達が数日から数週間に渡り母親と分離され、その様子が記録されています。親の分離にまつわる「子どもの心理」について学ぶことのできる貴重な資料として世界中の子どもの心のケアに関わる人たちがこのフィルムを視聴し学んでいます。

今回は「ジョン」を視聴します。フィルムに映し出されるジョンの行動や表情から気持ちを読み取り、彼の心にどんな変化が起こっているのか参加者とディスカッションします。

10月15日（土）

先着10名程 参加費：500円

園や学校、事業所で、親子関係が心配なお子さんや保護者の方はいらっしゃいませんか？親子関係が心配なご家族にどう介入していったら良いのか、どんな声かけや対応ができるのか、事例を通して講師の先生方と一緒に考えてみましょう！

現在悩んでいる事例、過去に対応したことがある事例など、検討事例を募集しております。お申し込みの際にお知らせください。

事例検討会ではプライバシー保護のため、参加される方は秘密の保持をお願い致します。

13:30～受付

14:00～16:00 事例検討

※終了後、懇親会を予定しています。詳細についてはご参加される方にお知らせ致します。

アクセス

秋田県労働会館 フォーラム・アキタ 3階

秋田県秋田市中通6丁目7-36

秋田駅から車で4分
徒歩で11分

駐車場は近隣の有料駐車場をご利用ください。



お申し込み

締め切り 10月1日

電話：018-828-7750

Mail：olive@kodomo-sekai.com

FAX：018-828-8185

Googleフォーム：<https://forms.gle/Xz9dQy6p7asp3VjU9>

QRコードが便利です→



メール・FAXの場合は、下記を記入してお申し込みください。

件名：「学術集会申し込み」

- ①お名前
- ②メールアドレス
- ③所属
- ④参加する日にち
- ⑤電話番号
- ⑥その他お問い合わせ

大会事務局：子ども発達支援センター・オリブ園

担当：鈴木

TEL：018-828-7750

MAIL：olive@kodomo-sekai.com